

開成宮農経済センターだより 令和4年11月

TEL 83-5165



西湘きんじろう

回覧中の注文書について

「柑橘類苗木及び防風垣苗木」「苗木受注生産分（ヒリュウ台大津・湘南ゴールド・レモン）」
 「廃ビ・廃プラの回収案内」「丸山・やまびこ・省力園芸資材」「正月用品」「正月用おもち」

※ お申し込みのお忘れがないようご注意ください。

「果樹・水稻土壌改良剤」「果樹冬農薬」を予約注文（自己取り）されている方は、

令和4年11月5日（土）～令和4年11月15日（火）

8：40～17：00 までに取りに来てください。

※「玉葱苗」をご注文の方はご準備ができしだい、ご連絡いたします。

技術顧問の日 (園芸相談)	農業の専門家が農作業の相談に応じます。※都合により不在の場合があります。
お米の日	神奈川県産の玄米を特別価格で販売します。(毎月第2・第4火曜日) 11月8日・22日となります。
棚卸の日	11月30日(水) 月末（平日）は棚卸のため、15時に閉店致します。 尚、コイン精米機は17時まで営業致します。

☆令和4年産米県域共同計算にかかる経費目標額について（ご案内）

(単位:円/60kg(税込))

米穀生産者の方への共同計算の経費の明示は、米穀出荷契約に関する決めごとになっているため掲載いたします。 令和4年産米共同計算の経費につきましては、次のような目標を設定し、経費削減に努めますので、生産者の皆様におかれましては、趣旨をご理解のうえ、JAへの出荷をお願いいたします。なお、需給環境の急激な変化等により経費目標額を超えた場合は、その理由を説明いたします。 (問い合わせ先) JA かながわ西湘 営農指導課 TEL：0465-46-6950 全農神奈川県本部 農産部 農産販売課 TEL：0463-53-1570	区分	内容	金額	
	支出	流通・保管等に係わる経費		808
			概算金金利等	50
			保管料・入出庫料等	450
			保険料・補償料	3
			支払運賃	265
			安全安心等検査費用	
			集約保管等経費	40
			その他 流通・保管等に係わる経費	
		事故処理経費		
		手数料 (全農分)	定額手数料 機能別手数料	198
		生産・集荷・販売等に係る経費		
			JAへの支出経費	
			広告宣伝費等経費	7
			その他 生産・集荷・販売等に係る経費	
	需給調整経費			
	県産米推進協議会等経費			
		監査委員会費用	1	
	その他			
	合計		1014	

注)上記の数字は県域共同計算における経費であり、この他にJA段階での経費があります。

注)上記の数字は、令和元年10月1日からの消費税率改定に伴う適用税率をふまえた税込み金額となります。

令和4年産米の追加集荷の実施について

集荷日 令和4年12月6日(火)

集荷場所および搬入時間 JAかながわ西湘 開成倉庫 午前9時～10時

JAかながわ西湘 成田総合選果場 午後1時30分～2時30分

集荷対象品種 学校給食対象品種(キヌヒカリ・はるみ・さとしまん・てんこもり・コシヒカリ)

出荷を希望される方は令和4年11月25日(金)までに最寄りの支店までご連絡ください。

なお、契約の関係で4年産米の集荷は今回が最終となります。

～ 作物管理情報 ～

※農薬名に網掛けがあるものは購入時に印鑑が必要となります。

【キウイフルーツ】

病害虫防除 11月下旬～12月中旬 (収穫後直ちに)

かいよう病 ICボルドー66D 50倍 2kg / 水 100ℓ

土壌改良 11月～2月(収穫後)

苦土^{ソル} 100kg～200kg/10aを施用 (土壌のpHを調整するため)

収 穫

11月上旬中旬以降の強い霜が降りる前に収穫・選果しましょう。収穫は果実温の高い時は避けましょう。収穫時は傷や打撲が生じないように丁寧に扱い、収穫した果実は、直射日光に当たないようにしましょう。コンテナ等に少しでも軟化している果実が混入すると、軟化果の発生につながるため、混入しないようにしましょう。果実温を上げないよう選別後は速やかに低温庫に入れましょう。

【う め】

冬季剪定

11月～12月中旬に縮間伐を実施しましょう。剪定は骨格枝作りを重視し、主枝の配置や内向枝・平行枝等の切除を行います。蕾を傷めないために年内にノコギリ剪定(太枝の処理)を終了させましょう。

灰星病対策

灰星病の罹病枝^{りびょう}がある場合は冬季剪定時に必ず剪除し、園外廃棄しましょう。

*灰星病の罹病枝^{りびょう}がわからない方は、最寄りの営農経済センターにご確認ください。

施 肥

梅配合 100kg / 10a 10月に施肥していない園は直ちに行いましょう。

病害虫防除 11月上旬

カイガラムシ類 アタックオイル 50倍 2,000ml / 水 100ℓ

11月中旬以降は、花芽を傷めやすいので散布をしないで下さい。

カイガラムシ類は梅の場合、防除適期が収穫時期と重なり防除が難しい害虫です。

カイガラムシ類が多発している園では、この時期の防除を実施してください。(重要)

【か き】

施 肥

礼肥：柿配合 867 50kg/10a 土壤改良剤：苦土外カ 100kg / 10a

樹勢回復と翌年の花芽の充実、着蕾の促進のため、施肥します。施肥が遅くなると肥料の吸収がされにくくなるので、9月、10月に礼肥を行っていない方は施肥をしましょう。施肥目安は収穫を始めた頃です。

——— **【温州みかん】** *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょ。 ———

仕上げ摘果

加工ミカン無くすために、樹上選果を継続してください。

施 肥 11 月上中旬

秋肥 特選みかん配合 655 120kg/10a

施肥後、軽く中耕しましょう。ただし、着色が著しく遅れている樹木は、窒素の影響により着色不良の原因となりますので、施肥量を減らしたり、施肥時期を遅らせて、着色促進に影響が無いようにしましょう。

病害虫防除 10 月下旬～11 月上旬

※ オマイト水和剤とベフトップジンフロアブル(劇)の混用は薬害の恐れがありますので避けましょ。

ミカンハダニ	オマイト水和剤	750 倍	収穫7日前	2 回	133g / 水 100 ㍺
又は	ダニサラバフロアブル	1000 倍	収穫前日	2 回	100ml / 水 100 ㍺

11 月中旬 貯蔵病害に注意ましょ。

貯蔵病害

〔 青かび病 緑かび病 軸腐病 〕	ベフトップジンフロアブル(劇)	1,500 倍	収穫7日前	3 回	66ml / 水 100 ㍺
	又は、トップジンM水和剤	2,000 倍	収穫前日	5 回	50g / 水 100 ㍺

※ 秋にミカンハダニは、果実の着色不良の原因となります。散布ムラの無いように防除ましょ。防除を徹底し、ハダニを貯蔵庫内に持ち込まないようにましょ。

※ 降雨が多い場合は、再度散布をましょ。

「温州みかん」と「中晩柑」では農薬の使用 방법에違いがあります。ラベルをよく確認ましょ。

その他

管内においてカメムシが発生しております。圃場にて発生が見られたら重点的に防除をお願い致します。カメムシの被害が多いと果実落果も予想されますのでご注意ください。

カメムシ スタークル顆粒水溶剤 2,000 倍 収穫前日 3回以内 50g/水 100 ㍺ 又は
ロディー乳剤(劇) 2,000 倍 収穫7日前まで 4回以内 50ml/水 100 ㍺

※ 収穫時期を迎えている品種については散布日数にご注意ください。

収 穫

大津四号は完全着色、青島温州は8分着色以上の果実から2～3回に分けて区分収穫ましょ。また、病害虫果や傷果の園内廃棄は鳥獣被害を助長します。園外廃棄に努めましょ。

【水 稲】

スクミリンゴガイ対策

管内でのスクミリンゴガイ（別名：ジャンボタニシ）の発生地域が徐々に拡大しています。発生拡大を阻止するためにも、耕耘（速度はゆっくり、ロータリー回転は速く浅めに）を行い、浅めにいる貝を傷つけ越冬させないようにしましょう。また、水路や排水溝なども越冬場所となるので、防除、清掃を行いましょう。

冬季にできる水田の除草管理（雑草防除）

一般には田植えから 7 月末頃に除草剤を使って除草を行いますが、多年生雑草の塊茎や根茎は種子より低温や乾燥に弱いことから、冬季の耕耘によって除草効果が期待できます。また、収穫 2～3 週間後の除草剤の散布は効果的です。

水田刈跡 雑草生育期薬剤 ラウンドアップマックスロード

一年生雑草 200～500ml/水 50～100 ㍓ 1 回

多年生雑草 500～1,000 ml/水 50～100 ㍓ 1 回

【野 菜】

タマネギの定植

9月に播種したタマネギは、早生種は 11 月上旬、中晩生種は中下旬が定植時期となります（育苗日からおおよそ 55 日）。定植時の苗は草丈が 20 cm 程度、茎径が 6mm くらいの大きさが適切で、これより大きいと春にトウ立ちする危険性があり、また分球する原因ともなります。

小苗定植では初期生育の不良や霜柱により倒れる恐れがあります。

植え付けに際しては、基部の白いところが少し出るくらいとし、深植えに注意しましょう。

春キャベツ（3～4 月収穫）の定植

秋まきキャベツは、本葉 7～8 枚が定植の目安です。大苗の方が小苗より定植後の生育がすぐれます。まだ苗が小さい場合は、育苗床にトンネルをかけるなどして生育を進めましょう。

栽植密度は、うね幅 60cm、株間 40cm が標準です。

～ みなさんの田畑は大丈夫？～

土壤診断は田畑の健康診断です！定期的に実施しましょう

土壤診断のメリット♪

- 土壤養分の過不足がわかる！ → 作物の「収量」「品質」が安定・向上します。
- 適切な投入量がわかる！ → 施肥コストが減らせます。

☆ 収量を上げようと、ついつい肥料をやり過ぎていませんか？

土壤診断を行い、基準より「多い養分は減らし」、「少ない養分は増やす」ことで最適な土壤バランスに近づけることができます。

※ 土壤診断は有料となり、採土袋が必要となりますので開成営農経済センターまでお問い合わせください。